2026 年度触媒学会「水素の製造と利用に関するシンポジウム」

日時：2026 年 11 月 9 日（月）13:00～17:05
会場：成蹊大学 本館 大講堂 （東京都武蔵野市吉祥寺北町 3-3-1）
主催：触媒学会「水素の製造と利用のための触媒技術研究会」
協賛：石油学会，化学工学会，水素エネルギー協会，日本エネルギー学会

触媒学会 水素の製造と利用に関する研究会では、例年水素に関するシンポジウムを開催しています。今年度は、水素と深い関係のアンモニア、水電解、膜反応器について大学の先生方にご講演をお願いしています。また、航空燃料合成の社会実装に取り組まれている企業からもご講演をいただきます。気鋭の講師陣を迎えた本シンポジウム、多くの皆様のご参加をお待ちしています。

プログラム（敬称略）

13:00～13:05　開会の辞
13:05～14:00　北野 政明（東京科学大学 総合研究院 元素戦略 MDX センター）
「アニオン欠陥反応場が拓くアンモニア合成・分解触媒の新設計」
14:00～14:55　黒田 義之（横浜国立大学 大学院工学研究院 機能の創生部門）
「高耐久アルカリ水電解アノードの開発」
14:55～15:10　休憩
15:10～16:05　野村 幹弘（芝浦工業大学 工学部 応用化学科）
「水素、二酸化炭素を用いた膜反応器の可能性」
16:05～17:00　佐藤 研太朗（株式会社 IHI 技術開発本部 技術基盤センター）
「CO_2 と水素を原料とした持続可能な航空燃料（SAF）の合成技術」
17:00～17:05　閉会の辞
17:15～　交流会（成蹊大学内食堂）

参加費：会員（含協賛学協会会員）3,000 円，非会員 7,000 円，学生（会員･非会員問わず） 無料
交流会費： 触媒学会会員･非会員 4,000 円，学生 1,000 円
※ 参加費および交流会費は現地にて現金でお支払いください。

参加申込方法：下記の microsoft365 フォームからお申込み下さい。
https://forms.cloud.microsoft/r/mNhJ3weS5P
フォームからお申込みできない場合には E-mail にて「触媒学会水素シンポジウム」と題記し、(1) 氏名、(2) 会員資格（触媒学会会員，協賛学協会会員，学生，もしくは非会員）、(3) 所属（勤務先，部署），(4) 連絡先（住所（都道府県のみ），メールアドレス）、(5) 交流会の出欠を明記し，下記の連絡先にお申し込み下さい。

定員： 200 名
締切： 2026 年 ~~10 月 16 日（金）~~ 10 月 29 日（木）
備考： 事前の許可なく講演内容を録画・録音・撮影することを固く禁止いたします。

連絡先：産業技術総合研究所 触媒化学研究部門 佐藤 剛一
E-mail: M-cat-seminar01-ml@aist.go.jp

会場案内

吉祥寺駅からのアクセス



JR中央線・総武線 (東京メトロ東西線) 京王井の頭線	【吉祥寺駅】下車 吉祥寺駅より徒歩約15分 吉祥寺駅北口バスのりば1・2番より 関東バス約5分『成蹊学園前』下車
西武新宿線	【西武柳沢駅】下車 西武柳沢駅南口より 関東バス（吉祥寺駅行）約15分『成蹊学園前』下車

キャンパスマップ



⓪本館